

水道事業評価(令和6年度)						担当課	浄水課
1 事業情報							
目指すべき方向性	安全	基本政策	1 安全・安心な水道水の確保	施 策	1-1 水源の保全と確保	事 業	1-1-2 自己水源の確保

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	お客様がいつでも安心して水道を利用できるよう、水道事業者や水道施設の設置者と連携しながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。							
事業目的	・地下水の安定した揚水量を確保するため、取水井の適切な維持管理を行います。 ・自己水源の安定的な確保を図るため、老朽化した取水井の改良・掘替工事を計画的に実施します。							
取組内容、数値目標及びスケジュール（単年度）	・日常的に井戸の静動水位の監視や揚水量の測定を実施し、井戸の健全性を確保します。 ・渇水時においても環境法令等を遵守した取水に努めた上で必要な水源を確保します。 ・横曽根浄水場2号井ポンプ更新工事を行い、自己水源の安定的な確保を図ります。							
期間	令和6年4月      ～      令和7年3月							
予算額 決算額		予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位: %
	事業費計	4,600	0	4,600	4,600	0	4,600	100%
	工事費	4,600		4,600	4,600		4,600	100%
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
	人件費	5,832			5,832			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	0千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	0%		
進捗状況	・計画通り井戸の水位監視を継続しました。 ・環境法令を遵守し必要な自己水源を確保しています。 ・横曽根浄水場2号井ポンプ更新工事は、美術館工事の関係で公園課と協議中で9月頃再調整する予定でしたが、10月以降に再調整となりました。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	・計画通り井戸の静動水位の監視や揚水量の測定を実施し、井戸全体の健全性が保たれました。 ・渇水による給水制限はありませんでした。また、環境法令等を遵守し必要な自己水源を確保しました。 ・横曽根浄水場2号井ポンプ更新工事については、関係各課と情報共有を行い、工事を実施してきましたが、既設設備の撤去時、ピットレスユニット及び揚水管に損傷が発見され、追加部品の交換及び補修が必要となり、現年度内の工事完了が困難になり、次年度まで工期が延長されました。
------	---

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R4	R5	R6	R7
指標名	井戸の静動水位・揚水量の測定	単位	回/年	目標値	4	4	4	
算出式・根拠				実績値	4	4	4	
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	B	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	B
	目的に対する実施内容	C		情報発信の実施	B
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	B	組織学習	職員の知識向上のための取組み	B
	投入した費用・労力に対する成果	B		知識の伝達	B
評価理由(特記事項)					総合評価
・井戸の静動水位や揚水量の測定を年4回実施しました。 ・揚水量は、環境法令等を遵守出来ました。 ・横曽根浄水場2号井ポンプ更新工事については、工事途中で、既設構造物に損傷が発見され、追加部品の交換及び補修が必要となり、現年度内の工事完了が困難になり、次年度まで工期が延長されました。					B

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
・井戸の静動水位及び揚水量の測定を継続し、自己水源の保全に努めます。 ・各井戸の掘替・ポンプ更新時期について整理し、自己水源に影響がないよう努めます。	現状維持で継続